

2011年2月4日  
トヨタホーム株式会社

## 「町家」再生保存」貢献で名古屋市から感謝状

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長森岡仙太）は、老朽化で取り壊しの危機にあった名古屋市緑区の江戸時代末期の建物、「有松町家」の再生保存で貢献したとして、名古屋市から感謝状をいただきました。

再生保存したのは、名古屋市緑区有松地区の旧東海道沿いにある旧「中舂竹田家」（平屋建222.3㎡）。この町家は、安藤広重の版画にもこの建物を写実したと思われる作品があるとされるなど、極めて文化遺産的価値が高い建物。ただ、老朽化が進み、耐震、防火、防水などの面で改修の必要性が高まっていました。しかし保存には費用がかかり過ぎるほか、維持管理面での資金も困難なことなどから、取り壊してアパート14戸を建設する計画がいったん出されました。

そうした中、貴重な街並みをなんとか保存をとの声が地元に残り、地域住民、名古屋市、民間が知恵を集め、デイサービスセンターと高齢者優良賃貸住宅とを組み合わせることにより、建築資金不足の一部を補うとともに、不足する高齢者福祉施設に活用した再生保存事業が実現しました。

トヨタホーム(株)は、旧建物の老朽診断、町家再生後の活用案、事業資金捻出の仕組みを提案するとともに計画実現までのサポートをしました。その結果、「江戸時代の文化遺産的価値の高い町家建築の保存に貢献した」として名古屋市から感謝状をいただきました。

再生保存事業は総事業費約1億2,700万円で、10年1月に着工。高齢者優良賃貸が10年6月に完成、町家再生が10年10月に完成しました。

再建築された町家は平屋建165㎡で、11年2月デイサービスセンターとして運用開始。敷地奥に建てられた高齢者優良賃貸住宅は2階建延べ297㎡（賃貸8戸）。



再生された町家

以上